

## フランス啓蒙思想

### 2016 年追試

問 3 次のア～ウは、啓蒙主義の思想を説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 31

ア 「啓蒙」とは、無知<sup>もうまい</sup>蒙昧の暗闇に理性の光を当てて照らし出すことを意味する。啓蒙思想家たちは、ヨーロッパの伝統的な宗教や権威を批判し、もっぱらヨーロッパ以外の文化に模範的な価値を見いだしていった。

イ 啓蒙思想家たちは、理性に信頼を寄せ、先入見から人々を解放しようとした。この思潮の背景には、ニュートンの物理学に代表される自然科学の成立とその普及があった。

ウ 18世紀のフランスでは、ダランベールらの啓蒙思想家たちが絶対王政下で『百科全書』を刊行した。そこで示された合理的・進歩的思想によって旧制度を批判する気運が生じ、フランス革命の源泉の一つとなった。

- |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問 4 次のア～ウは、社会や国家に関する思想について記述したものであるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 32

ア 人間は本来、各人の生命・自由・財産の所有に対する権利をもつ。この権利を保障するために人間は国家を形成するが、国家が権力を濫用する場合には、それに抵抗し革命を起こす権利をもつ。

イ 国家の権力は、立法権・行政権・司法権の三つに分けられる。このように三権を分けることで、権力の集中と濫用を回避し、政治的自由の実現が可能になる。

ウ 公共性の領域は、人々が言葉を通じて関わり合う「活動」によって担われる。だが、近代社会では、「仕事」や「労働」が、「活動」の領域を侵食し、公共性が蝕むしばまれた結果、全体主義が生み出された。

- |   |   |      |   |         |   |         |
|---|---|------|---|---------|---|---------|
| ① | ア | ホッブズ | イ | モンテスキュー | ウ | アーレント   |
| ② | ア | ホッブズ | イ | モンテスキュー | ウ | ホルクハイマー |
| ③ | ア | ホッブズ | イ | ヴォルテール  | ウ | アーレント   |
| ④ | ア | ホッブズ | イ | ヴォルテール  | ウ | ホルクハイマー |
| ⑤ | ア | ロック  | イ | モンテスキュー | ウ | アーレント   |
| ⑥ | ア | ロック  | イ | モンテスキュー | ウ | ホルクハイマー |
| ⑦ | ア | ロック  | イ | ヴォルテール  | ウ | アーレント   |
| ⑧ | ア | ロック  | イ | ヴォルテール  | ウ | ホルクハイマー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問3	31	⑤	3
第4問	問4	32	⑤	3

2015 年本試

問 4 次のア～ウは，進歩や進化を論じた思想家の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

4

ア ショーペンハウアーは，世界史を「自由の意識の進歩」と捉え，一人の人間が自由であった時代から，万人が自由な時代に進むと論じた。

イ スпенサーは，進化論を社会に適用し，自由競争と適者生存のメカニズムが国家等の干渉を受けないとき，分業が進み社会が発展すると論じた。

ウ ヴォルテールは，伝統的身分や宗教的権威が君臨する旧制度を批判し，階級闘争による歴史の必然的進歩が，革命によって成就すると論じた。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	4	⑥	3

問 7 次のア～ウは，社会の変革に影響を与えた思想家の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

35

ア 従来の教会のあり方を批判し，救済は神の意志により定められているとした。また，神への奉仕としての職業労働を通じて，世俗社会において救済の確信を得ることができるとし，人々に精神的な支えをもたらした。

イ 同時代のイギリス思想の影響から出発し，後に，自然や社会に関する合理的な知識の集大成である『百科全書』において，その編集責任者となるなど，フランスの啓蒙主義思想において中心的な役割を果たした。

ウ マルクス主義を受け継ぎ，帝国主義の時代に対応した新たな社会主義理論を発展させた。また，プロレタリアートによる独裁が必要であると考え，革命運動を指導することで世界最初の社会主義国家を建設した。

- |            |          |         |
|------------|----------|---------|
| ① ア トマス・モア | イ デイドロ   | ウ レーニン  |
| ② ア トマス・モア | イ デイドロ   | ウ エンゲルス |
| ③ ア トマス・モア | イ モンテーニュ | ウ レーニン  |
| ④ ア トマス・モア | イ モンテーニュ | ウ エンゲルス |
| ⑤ ア カルヴァン  | イ デイドロ   | ウ レーニン  |
| ⑥ ア カルヴァン  | イ デイドロ   | ウ エンゲルス |
| ⑦ ア カルヴァン  | イ モンテーニュ | ウ レーニン  |
| ⑧ ア カルヴァン  | イ モンテーニュ | ウ エンゲルス |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	⑤	3

2013 年本試

問 3 当時のフランス社会を批判した思想家についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① ディドロは、様々な国家制度を比較し、立法権・執行権・裁判権が互いに抑制し均衡をはかるシステムの重要性を認識し、それを欠いたフランスの専制政治を批判した。
- ② モンテスキューは、フランス政府からの度重なる発禁処分にもかかわらず、様々な学問や技術を集大成した著作を出版するとともに、人民主権の立場から、封建制を批判した。
- ③ ヴォルテールは、書簡形式の著作において、イギリスの進歩的な政治制度や思想をフランスに紹介することを通じて、フランスの現状が遅れていることを批判した。
- ④ パスカルは、人間が生まれながらにもつ自然な感情である <sup>あわ</sup> 憐れみの情が、文明の発展とともに失われていくと分析し、不平等と虚栄に満ちたフランス社会を批判した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	32	③	3

2012 年追試

問3 近代的な国家や市民社会のあり方を説いた思想家ア～エとその思想についての記述A～Dの組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

24

ア モンテスキュー      イ ルソー      ウ カント      エ ヘーゲル

- A 自然な愛情によって結び付いた家族と、各自が利益を追求する市民社会とは、国家において統合され、真の自由が実現される。
- B 理想的な道徳的共同体を目指して、諸国家間においても、一切の敵意を終息させる努力をすべきである。
- C 国家権力を立法権、行政権、司法権に分けて、それぞれを独立した機関に担わせることで相互に権力を抑制させるべきである。
- D 公共の利益を求める普遍的な意志は人民自体のものであるから、人民に存する主権は譲渡も分割もできない。

- ① アーA      イーB      ウーC      エーD
- ② アーA      イーD      ウーC      エーB
- ③ アーB      イーA      ウーD      エーC
- ④ アーB      イーC      ウーA      エーD
- ⑤ アーC      イーB      ウーD      エーA
- ⑥ アーC      イーD      ウーB      エーA
- ⑦ アーD      イーA      ウーB      エーC
- ⑧ アーD      イーC      ウーA      エーB

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問3	24	⑥	3

2009 年本試

問 2 人間の理性という光をもって世界を照らし出そうとした西洋近代の思想を啓蒙思想という。フランス啓蒙思想家の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

24
----

- ① モンテスキューは、人民の革命によって絶対王政を転覆すべきだとした。
- ② ヴォルテールは、ロックの経験論に学び宗教的な迷信や偏見を批判した。
- ③ デイドロは、王政の保護のもと、宗教を擁護する『百科全書』を編纂した。
- ④ サン=シモンは、資本主義の科学的分析に基づいて理想社会を構想した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	24	②	2

2005 年追試

問 5 ヴォルテールについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

15
----

- ① 『百科全書』の刊行の中心人物であり，人民主権，代議制民主主義，個人の権利の保護などを唱えて，唯物論への転換を示した。
- ② 正しい認識をさまたげるイドラ(幻影)を離れて，経験的事実に即して考えれば，人間の生活は豊かになると考えた。
- ③ 「大地震」という精神的衝撃を受けて，神の前に立つ人間の真のあり方を考察して，自分がどう生きるかという主体的真理を求めた。
- ④ 啓蒙思想の立場から，イギリスの文化を紹介してアンシャン=レジームやカトリック教会を批判する文筆活動を行った。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	④	3

2003 年本試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。

ルネサンスや科学革命を経た西洋は、地球上で政治的、経済的に支配的地位を占めるにつれ、自らの優位を誇るようになっていった。確かに  の時代でも、モンテスキューの『ペルシア人の手紙』やヴォルテールの『マホメット』には当時の西洋社会に対する文明批評が見られ、19世紀にはヴェルディの歌劇「アイーダ」のように歴史的考証を経たものも現れている。

- ① 資本主義      ② 啓蒙主義      ③ 人文主義      ④ 社会主義

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	10	②	2

2002 年本試

問 2 『百科全書』に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つずつ選べ。 

13
----

- ① 動植物界の記述を目指し、自然選択にもとづく生物進化論を提示した。
- ② 人類史の記述を目指し、ルイ 14 世の時代を歴史的進歩の頂点とした。
- ③ 習俗の比較を目指し、ペルシャと対比しながら西洋社会を批判した。
- ④ 様々な知識の組織的な解明を目指し、学芸の成果を批判的に吟味した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	13	④	2

2001 年追試

問 6 自律性に関しては様々な考え方がある。その記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

16
----

- ① カントは、道徳法則が我々自身の理性によって立てられるものであり、それに自ら従うことが自律的であると考えた。
- ② ルソーは、人間が欲望の奴隷になるのではなく、自分が自分の主人になるべきことを重視し、自ら立てた法に従うことが真の自由だと主張した。
- ③ モンテスキューは、自律とは実は内面化された他律にすぎないことを指摘して、個人の自律に基づく自由主義的な政治思想を批判した。
- ④ フロイトは、従来自律的なものと見なされていた精神の中に、自己のコントロールの及ばない無意識の領域を発見した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	③	3